

年頭のご挨拶



衆議院議員
あべ 俊子

栃木県看護連盟の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと拝察申し上げます。

昨年は、第二次安倍内閣改造にて農林水産副大臣を拝命。

その後12月の衆議院解散選挙では、栃木県看護連盟の皆様をはじめ全国の看護連盟の皆様の温かく力強いご支援のおかけ様で4期目国政の場へ戻ることができ、また第3次阿倍内閣でも農林水産副大臣を再任いたしました。

改めて全国の看護連盟の皆様のお力添えの大きさをかみしめますとともに、この場をお借りいたしまして真心より感謝申し上げます。

この責任の重さを胸に初心を忘れることなく看護職出身の国会議員として看護職の皆さまの為、また弱者の方の為に精一杯努めさせて頂く所存でございます。

財政重建と景気回復が同時に必要とされる中、社会保障改革も進められています。看護職における活躍の場の拡大の好機でもあります。さらには働く女性の17人に1人が看護職です。個性と能力を発揮し女性が輝く社会には看護が輝く働き方が必須です。

看護職の皆様が、現場が良い方向に変わった！看護職になって良かった！と実感して頂けるよう皆様のお声をお聞かせ頂きながら引き続き努力してまいります。



参議院議員
たかがい 恵美子

みなさまお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

平素より看護政策の推進にご尽力賜り誠にありがとうございます。

昨年は、豪雪災害被災者の救済措置として歴史上初めて看護師国家試験が追加実施され、雇用保険法や医療介護法など看護界に関連する複数の法律が成立した大変印象深い一年でした。

2年ぶりとなった師走の総選挙では、看護界から2人の衆議院議員が誕生し、看護系国会議員数は過去最多になりました。自民党看護問題対策議員連盟会員数は350名を越え、いまや最大規模の勢力を誇っています。これもひとえに、日本看護連盟の会員ひとり一人のたゆまぬ努力と組織の結束力の賜と大変心強く感じております。

確たる信念のもとに集い鍛えてきた私たち看護連盟の政治基盤は、政権与党を支持する多くの方々の信頼を得て、さらに盤石な体制へと進化しています。こうした後ろ盾のもと、私たかがい恵美子も、昨年9月に厚生労働大臣政務官を拝命し、現在は年金、労働、雇用、子ども子育て分野を担当させていただいております。また、政府の政務官会合においては「高齢者の活躍と支援に関する政策」検討チームの世話役に指名されました。新たな政策づくりにチャレンジする機会を与えていただいたことに感謝しつつ、これからも最大限の努力を続けてまいります。みなさまのご健康とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。今年もよろしくお願ひいたします。



参議院議員
石田 昌宏

栃木県看護連盟のみなさま、新年あけましておめでとうございます。今年がすばらしき一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年末に経済再生と財政再建を同時に実現してゆくため、国民に信を問う選挙が行われ、あべ俊子議員が4度目の当選を果たし引き続き農林水産副大臣に就任されますとともに、新たに木村弥生議員（北関東比例）が誕生しました。新しい仲間が増え看護職議員が4名となり、心強い新年の幕開けです。

また、衆議院選挙の応援にまわる中、各県看護連盟のみなさまの結集力と力強い活動に、あらためて組織代表であることを誇りに思いました。あべ議員、たかがい議員、木村議員と力を合わせ、政策実現のため力を尽くしてまいります。

国民のみなさまが健やかで安心した暮らしができるよう、そして私たち看護職が誇りを持って働くことができる環境作りのため、今年一年も全力で活動してゆきます。

引き続き、暖かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。